鑑賞文

詩への道しるべ

紙風船　黒田三郎

落ちてきたら
今度は
もっと高く
もっともっと高く
何度でも
打ち上げよう
美しい
願いごとのように

何度でも打ち上げられる紙風船。空に舞う美しい紙風船のイメージが、この詩の中心にあります。しかし空に打ち上げられているのは、ほんとうに紙風船なのでしょうか。

「美しい／願いごとのように」と詩は言います。ですが、詩の言いたいのは実は逆です。

「美しい願いごと」――たとえそれが叶わずに落ちてきても、その「美しい願いごと」を「もっともっと高く／何度でも／打ち上げよう」、紙風船のように、と詩は言っているのです。

比べるものと比べられるものを密かに逆転する仕掛け。それによってこの詩は、空に打ち上げられる美しい紙風船をうたうイメージの詩から、〈美しい願いごとは決して諦めるな〉という〈考え（思想）の詩〉、メッセージの詩へと転換しています。

ただ詩として大切なのは、そのメッセージが軽やかな紙風船のイメージに託されていることです。それによって読者は「願いごと」の内容を、決して重苦し過ぎるものとは感じない。そして自分自身のひそかな願いごとも、美しい紙風船のように、諦めることなく打ち上げつづけてみようかと、小さく励まされるかも知れません。それがこの詩の魅力でしょう。

（柴田翔『詩への道しるべ』筑摩書房　による）

確認テスト

本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 詩を、使われている言葉や形式から分類したときに、「紙風船」に当てはまるものを次から二つ選びなさい。

ア 文語詩　**イ** 口語詩
ウ 定型詩　**エ** 自由詩　**オ** 散文詩

〔　　・　　〕

(2) ――線部「比べるものと比べられるものを密かに逆転する仕掛け」とあるが、これを正しく説明したほうを選びなさい。

ア 「美しい願いごと」にたとえられた「紙風船」を描いた詩が、「紙風船」にたとえられた「美しい願いごと」をうたった詩へと変化する。

イ 「紙風船」にたとえられた「美しい願いごと」を描いた詩が、「美しい願いごと」にたとえられた「紙風船」をうたった詩へと変化する。

〔　　〕

(3) 「紙風船」にうたわれたイメージと込められたメッセージを、本文中からそれぞれ十五字で探し、最初と最後の三字を答えなさい。

イメージ　□□□～□□□

メッセージ　□□□～□□□